



今回のテーマ

栄養不良と新型コロナウイルス肺炎(その2)

前号で、栄養不良と病気の悪循環について紹介しました。世界的な新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大によって、人々の命と健康の基盤となる「栄養」分野への影響が拡大し、早急な対策が求められています。2020年7月に刊行されたランセット誌によれば、今回のパンデミックの影響で、低・中所得国での5歳未満の子どもの急性栄養不良が15%(600~700万人)増加することが推定されています。こうした急性栄養不良の増加の一方で、栄養回復サービスのカバー率が下がることが予想されており、結果として5歳未満児が死亡数は約13万人増加すると見込まれています。

北部ウガンダ栄養プロジェクト

NAMがウガンダ北部の難民キャンプの栄養改善事業は、国際協力システム(JICS)の助成を受けて実施することができました。新型コロナの影響で、活動は主に現地パートナーであるPACHEDOへのリモート支援を通して行われました。彼らはまず、北部パラベックの難民キャンプで対象地域の関係者に栄養と乳幼児育児ケアについて指導を行いました。その後、地域内で子どもが健康に育っている母親をポジティブ・デビアンス(PD)を通して見つけ出し、彼女らを母親リーダーとしました。母親リーダーは子どもが栄養不良の近所の母親をグループ化し、地域で利用可能な習慣や食材を利用した



調理実習を行いました。NAMが現地視察できたのは、2020年12月でしたが、関係者、リーダー、母親が本事業に積極的に参加し、栄養と乳幼児育児ケアに関する意識・知識が改善されたことを確認できました。



【新型コロナウイルスと世界の栄養問題—いのちを救うための取組み】

2020年9月4日に、Zoomウェビナー企画【新型コロナウイルスと世界の栄養問題—いのちを救うための取組み】が開催されました。NAMはコロナ下においてミャンマーで行った栄養活動の経験から、急性栄養不良の現状やコロナ下での栄養支援の重要性や課題を解説しました。その中で特に、感染症の恐怖や不安から母乳育児への誤った理解や風評の危険を訴えました。



講義「ポジティブデビアンス」

2020年7月、帝京大学大学院公衆保健学研究科で、「ポジティブ・デビアンス(ポジ・デビ)を探そう。解決策は隠れている—いつもと違うレンズで地域保健問題を考えてみよう」をテーマにした、参加型演習を含む講義を行いました。詳細は以下リンク参照。



<http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~tsph/info2020.html>
(2020年7月掲載)



アフリカ広域栄養情報共有プラットフォーム推進

NAMIは、カナダの団体Nutrition International (NI)の支援で、タンザニアおよび周辺諸国を対象に「アフリカ広域栄養情報共有プラットフォーム推進」を開始しました。各国の国家栄養計画を推進に関わる保健省、関連省庁・機関の能力向上のために、ITで関係者を繋いで地域で有用な経験、知識、アイデアを共有することを目的としています。タンザニアのアルーシャにあるEast Central South Africa – Health Community(ECSA-HC)はアフリカ東南部および中部の9カ国の保健省をコーディネートする団体であり、ここを拠点としたプラットフォームは、行動変容と栄養スケールアップをテーマに情報共有活動を始めています。



JICA課題別研修「母子栄養改善」

毎年行われてきた「母子栄養改善」研修が、2020年10月に行われました。今年度参加者は12カ国(インドネシア、カンボジア、東チモール、ミャンマー、ガーナ、ナイジェリア、マダガスカル、モリタニア、モザンビーク、セネガル、シエラレオネ、タジキスタン)がでした。今年は新型コロナの蔓延により、オンラインで行われました。NAMは、コロナ下における栄養支援についてビデオ講義を配信し、その後ライブセッションを接続し、議論を行いました。



食と栄養のアフリカ・イニシアチブの実施ハンドブック作成

JICAが取り組む「食と栄養のアフリカ・イニシアチブ(IFNA)」のアドバイザー業務の一環でIFNA実施ハンドブック作成を行った。ハンドブックは、4つのモジュールから構成され、国家レベルと地方レベルの対象者により今後IFNAのアフリカ展開において活用されるのです。



今後の計画

研修ワークショップをさらに強化しながら、ウガンダのプロジェクトは発展的な継続を目指します。「アフリカ広域栄養情報共有プラットフォーム」は、オンラインの「Community of Practice (CoP)」を行うとともに、継続的な資金源の獲得も目指します。IFNAアドバイザー業務は、ハンドブック作成の継続とともに、新たにモザンビーク国での調査・アドバイザーを行います。その他、グローバルフェスタ出展や2021年東京オリンピックに連動して開催予定の「成長のための栄養サミット」に向けた政策提言やネットワーク活動を行います。